TeamA

vol.5

■実践発表会・安全大会
■現場紹介
■環境整備活動
■本社からのご案内

管理部

リニューアル部

現場職長会

営業部

建築1部

建築3部

建築2部

<社員いきいき！元気な会社！登録宣言内容>

- 多様な働き方を推進する取組
  年次有給休暇の計画的付与の導入（夏季・年末年始に5日間を一斉付与）
- 地域の次世代育成支援に協力・参画する取組
  企業見学、インターンシップの受け入れなど、学校の"キャリア教育"への協力
  （学生が選ぶインターンシップアワード2019受賞）
- 誰もが働きやすい職場環境づくりに資する取組
  健康経営優良法人の認定（2018年・2019年）

人・街・未来を創造する。
旭建設・旭会・職長会

第2回 環境整備活動実践発表会 2019.5.15

全社全部門・協力会社・職長会参加
仕事を魅せる、更なる改善へ

全部門で行っている環境整備活動（業務改善、業務効率化へ向けた取組）実践発表会も第2回目を迎え、本年度は本社営業部、管理部、積算購買部からも日頃の取組を発表してもらいました。建設現場だけでなく、本社での取り組みまで協力会社の皆さまと共有することで、更なる飛躍へと繋げます。

2017年8月の、職長会結成時よりご指導をいただいている今村暁先生をはじめ、掃除大賞受賞のアイワ工業さま他、掃除協会関係者の皆さまもご来場下さいました。
16部門中、半数を超える11部門の発表は、今や若手社員が全社員の1/3を締める旭建設の未来を担う、20代の若手社員からの発信となりました。発表時間は3時間半にもなりましたが、終了後のアンケートの中には「自社に持ち帰り実践したい」「仕事を見直すきっかけになった」等、前向きなご意見を数多くいただきました。

実践発表部門全16チーム

①ウィザース蘇我	⑨職長会
②千葉スバル	⑩カネマル工業㈱
③大久保学園豊富	⑪細谷工業㈱
④天戸町	⑫営業部
⑤田端 HOTEL	⑬管理部
⑥ひだまりの里	⑭積算購買部
⑦リニ：スーパーホテル	⑮環境整備委員会
⑧土木：ちはら台モール	⑯推進支援チーム

▶職長会 テーマ パトロール報告と職長会の役割について

▶リニューアル部
テーマ 作業のカイゼン PDCAをまわせ!

10階からほぼ同じ作業で2階まで下りてくる作業、作業の効率が改善していく様子がわかりました。

▶積算購買部 テーマ 積算能力のカイゼン「早く、安く、正確に」

ピーク時人員の不足からソフト導入による効率のup、精度の高い見積書作成へ向けての取組を発表してもらいました。

当日の様子

▶ウィザース蘇我 テーマ 人・環境・資源～100年企業へ

昨年12月に入社した、実習生ではなく、ベトナムで建築系の大学を卒業し数年の現場経験をもつナムさん、初めての配属現場。プレゼンはナムさんのインタビューを交え外国人監督の受入から活用、点検作業の徹底や工程とコストについて。最期は改善活動の継続で100年、200年先までカッコいい企業で!と締めくくってくれました。

▶大久保学園
テーマ 工期厳守のコミュニケーション

現場独自のスローガン

▶田端ホテル テーマ 狭小崖地での施工条件の改善

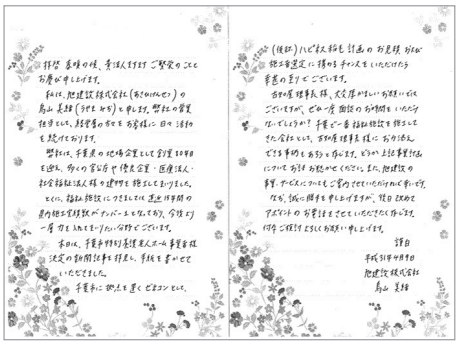
▶天戸町 テーマ 日200人の作業員と行う現場施工及び環境整備

竣工まで約1ケ月となり、日々現場に入る作業員数の多さから大型建設現場の醍醐味が伝わりました。

▶細谷工業
テーマ 自社で実践している取組と旭会で行った定位置管理とその後について

▶営業部 テーマ 勝ち続ける営業部をつくる

BMの設定や活動施策紹介の中では、施工実績、過去15年間の福祉法人施工県下No.1や、鳥山さん直筆のオーナー様へ宛てたお手紙もありました。



▶管理部 テーマ 働き易い環境づくり

定時退社へ向けての取組や、全社的な長時間労働改善へ向けての勤怠システム、リニューアル部ウェブリフォームステーションについての紹介。社内申請書類の電子化やEDI電子取引システム導入により、実際に残業時間が削減できた社員からのコメントまで紹介してくれました。

第40回 安全大会 2019.6.13

今年も安全大会が開かれました。

青葉の森公園芸術文化ホールを会場に、安全表彰や実践発表会での優秀部門の発表と表彰、今村暁先生をお迎えしての特別講演を行い、基本理念と行動指針のもと本年度も無災害で邁進していくことを一同で誓いました。

スローガンと行動指針は協力会社、社員より公募を行い決定しました。

2019年度　安全スローガン
決めたルールは必ず守る　正しい手順で安全作業
建築2部長　大久保 充宏 さん

2019年度　行動指針
目配り　気配り　思いやり　気づいて即行動
リニューアル部　清水 茉優さん

中央労働災害防止協会　2019年度　全国安全週間スローガン
新たな時代に　PDCA　みんなで築こう　ゼロ災職場

2019年度　建設基本方針

1. 環境整備活動の継続推進
①環境整備活動を社風、企業文化まで昇華
②今年度の重点管理項目　▶挨拶は、明るく元気に大きな声で
▶トイレはいつでも、ピカピカ清潔に

2. 人が育つ・人を育てる企業への仕組みづくり
①問題の解決力の平準化
②気働きのできる技術者の育成
③コンプイアンスの遵守

3. 働き方改革の推進
①働き方改革関連法の遵守
②業務の効率化
③職長会改善提案活動の継続

2019年度 安全重点目標

① 休業災害を0（ゼロ）とする。
② 物損事故を0（ゼロ）とする。

安全衛生方針　基本理念

全社員及び協力業者の一人ひとりが、安全の重要性と災害防止の社会的責任を深く認識し、人命尊重の基本理念のもと、安全衛生管理能力の向上と快適な職場環境づくりに努める。

大会で安全への誓いを再確認

休業災害・物損事故ゼロへ

総合建設業の旭建設（千葉市中央区、高橋昌宏代表取締役）は、協力会社で構成する「旭会」（会長・音成信行会長）との共催で13日、千葉市中央区の青葉の森芸術文化ホールで、第40回となる2019年度の安全大会を開催した。当日は同社と旭会が掲げる今年度のスローガン「決めたルールは必ず守る　正しい手順で安全作業」の実現に向け、出席者らが安全講話などを通じ、安全確認の重要性を再確認した。

建設関連の物故者に黙とうが捧げられた後、高橋代表は「新年早々の下、皆さんの協力のおかげで80周年を迎えることができた」と謝意を示しながら、新昭和グループとなって4年が経ち、社員のスキルアップを業績向上につなげ、工期厳守を心掛けて効果の高い結果を残すことに取り組むとするとともに、オリパラ関連も含め、県内の工事発注が一段落する中、3年先を見据えた営業活動と、その売り上げをベースにして地に足をつけた単年度の事業計画を立てていく」とあらためて表明した。

80周年で思い新た　旭建設

高橋代表は、旭会との活動で、日本そうじ協会主催の「そうじ大賞・厚生労働大臣賞」とともに「インターンシップアワード」の優秀賞を受けたことを報告。意識の向上により、業務改善につながった結果だとするとともに「今年は安全と工期の厳守をテーマとして取り組みたい」と述べ、施工に関しても同じ価値によるより良い現場作りも含め、省力化、作業方法の改善など推進と、建設技術者の働き方改革の中で自分の時間や自己研さんに使える時間を持てる業界にしていきたいと抱負を語った。

旭会からも音成会長が、オリパラ後の景気について「今後も災害防止に努めていきたい」と誓った。

高橋代表

音成会長

安全表彰には受賞者を代表して渡辺建設の渡辺雄二代表取締役が謝辞。受賞を「身に余る光栄」だとした上で、より一層の労働災害の防止に取り組んでいくとした。

特別講演には一般財団法人日本そうじ協会の今村暁理事長が招かれ現場をテーマに講義。当日は現場整備実践優秀発表としてプレゼンテーションを行い、5チームが優秀賞を受け取るなどした。

当日の受賞者は次の通り（敬称略）。

【無災害工事作業所】
▽（仮称）大久保学園新築工事（鹿島建設）▽（仮称）千葉スパルク興業（佐々正和代表）▽（仮称）大久保学園新築工事（鹿島建設）▽ア香園新築工事（鹿島建設）▽千葉工業（千葉学代表）▽志村工業（千葉学代表）▽南部イキ（梅内義蔵代表）▽ア興業（梅内義蔵代表）▽千葉工業（佐々正和代表）▽志村工業（佐々正和代表）▽南部工業（佐々正和代表）▽千葉工業（千葉学代表）▽志村工業（佐々正和代表）

【協力業者表彰】
▽マークインテリア一嶋内康一代表▽海宝製材所（海宝弘和代表）▽千葉工業（千葉学代表）▽志村工業（佐々正和代表）▽南部工業（佐々正和代表）▽ア興業（梅内義蔵代表）▽ア香園新築工事（鹿島建設

竣工現場紹介

3月～9月に竣工した現場を、携わった若手社員のコメントと共に紹介致します。
ご協力下さいました皆さま、ありがとうございました。

田端ステーションホテル新築工事【9月竣工】

【渡邉　純一郎】 入社３年目

過密日程の現場でしたが、協力業者の皆さんと一丸となって工事を進め無事竣工を迎えることができました。これからは適正工期で品質を向上を目指します。鉄道が隣接しており、飛散物がないよう十分注意が必要な現場条件であったので、特に屋上をネットで覆い作業していて、万が一にも、材料等が風に煽られて飛んでも線路に飛ばないよう配慮しました。

【小林　颯登】 入社３年目

入社３年目で、私自身は２つ目の現場。タイトな工程・鉄道が近接する狭小現場でとても厳しい環境でした。現場が工程通り進まない・段取り不足・安全面が疎かになってしまうなど困難に直面し心が折れそうな時もありましたが無事竣工することができました。分からないことがたくさんありましたが、そのままにせず責任を持ち、やり遂げることが大切だと身に染みて感じました。これからも、一つ一つ経験を重ね、その経験を生かし自身のスキルアップに努め、最短での1級施工管理技士を取得し所長になれるように努力します。

【速水　智】 入社２年目

更地から竣工まで難工事に携われて貴重な経験をしました。狭小な崖地、JRの線路等、困難な条件の中で作業の連絡調整は大変に苦労しました。その様な状況の中でも次工程に進めるため、職人の皆さんにお願いし説得して協力を得られたことで乗り超えることが出来ました。

天戸町特定流通業務施設計画【6月竣工】

【一瀬　祐介】 入社1年目

私にとって、初めての経験がとても多い現場でした。基礎CON打設・埋戻し・鉄骨建方を並行して進めていく、といった全ての工事を工区ごとに進めていくという、中々経験できない作業工程だったので、とても勉強になりました。お客様が元請で、当社が施工協力店として工事に携わるというのも初めてで、求められるもののレベルの高さに戸惑う事も多くありました。辛い事も多々ありましたが、困難に直面するたびにスタッフ全員で綿密な打合せを行い、チームワークよく進める事ができたからこそ乗り越えられた現場だと感じました。

船橋本町1丁目計画新築工事【6月竣工】

【菅澤　仁志】 入社３年目

RC造で9階建ての建物に携わるのは初めてでしたが、基本工程のサイクル日数及び施工手順などを学べました。駅前の現場ということもあり歩行者や自転車の通行に注意しながらの搬出入の調整が大変でした。協力業者の皆さんと綿密な打ち合わせを行い、無事故、無災害で竣工することに苦労しました。

サンアシート袖ヶ浦機材センター新築工事【5月竣工】

【杉山　史也】 入社6年目

初めて副所長に任命された現場でわからないことが多々ありましたが、所長をはじめ多くの人の協力で竣工出来たと心から感謝しています。この経験を生かして、さらに精進いたします。

四街道もねの里商業施設外構工事【4月竣工】

【三橋　昇瑚】 入社3年目

建築から土木へ異動しての、初めての土木の現場となりました。始めは、土木と建築の図面の違い（高さの表記、単位の違い）や作業手順がわからなかったり、初めて経験することばかりで大変でした。土木課小倉所長や協力業者の方に細かく丁寧に教えていただき、徐々にではありますが課題を克服していくことができるようになりました。もねの里商業施設計画は同じ敷地の中に建築工事、土木工事が行われていた為、建築工事との作業場所のラップが懸念されましたが、建築担当の藤原工事長、矢田部所員と細部に渡る打ち合わせすることによりスムーズに工事を進めることができたことは、良い経験になりました。

スバル自動車ユーカリが丘店【4月竣工】

【齋藤　聡明】 入社4年目

本工事は工期が短く地形が複雑な難易度の高い工事でした。しかし熟練した上席が二名いる環境と協力業者の知恵をお借りし、後戻りが殆どない施工を行うことができました。この経験を自身の知識とし、今後に活かしていきます。

【森　翔真】 入社4年目

ベテラン所長・中堅スーパー副所長・若手スーパー主任の3人がいて、色々教わることが数多くありました。他の御三方と比べると自分のレベルは比べるまでもなかったのですが、3人の技術を盗んで今後の現場に生かしていきたいと思いました。

図面チェックのやり方、現場での指示・段取りなど高レベルの施工管理を間近で見ることができ大変勉強になりました。苦労した場面としては、現場の形状・立地条件が特殊で高低差のある土地・現場のレベルが２つに分けられている箇所の処理や、施工途中でご近隣様との調整が必要となり鉄骨工事に大きく影響した場面、水位が高く水替えが大変な中の基礎工事、などです。

さらにこの周辺は、ビル風が大変強く、風散対策や隣地に駐車場すべてに養生をしなければならない事や、土間押さえで1月の冷えた時期に暖房の効きにくいコンテナハウスで夜中の2時頃まで近隣対策の為、社員全員で待機していた事など、苦労した事が思い出され、特に上司3人の方は頭を悩めたと思います。

私は、ほとんど現場に出て作業員さんへ指示しながら、土工さんと一緒に水替えをしたり、各業者さんの番頭さんと風散対策を行ったり、雑仕事、工事写真を撮ったり、と、責任が大きく問われるような仕事は、外構工事を任させて頂いた事以外はあまりありませんでした。工事工程やご近隣様への対応・お客様との綿密な定例会議等は所長・副所長・主任が主として動いておりましたが、その内容を所内全員で、日々打ち合わせを行い情報の共有をし課題を解決していきました。

茂野製麺㈱茨城工場増築工事【3月竣工】

【赤塚　亮太】 入社4年目

今回の現場は、既存の工場が稼働した状態の居ながら工事の為、お客様との密な連絡調整が必要でした。連絡不足でお客様、協力業者の方にも多々ご迷惑をおかけしたこともありましたが無事に竣工することができ、良かったです。

職長会 パトロール

7/3

旭会職長会は、専門工種ごとの職長が集まって構成された組織で、現場の安全・工程・品質・コストについて、現場職長会と現場社員との懸け橋となり、お客様へ最高に価値ある建造物を提供します。パトロールでは、現場職長の皆さまとコミュニケーションを取りながら、強化すべき事項、是正が必要な事項、他の現場でも共有すべき良い事例などを見つけ、全現場への水平展開を図ります。

■職長会 パトロールの役割

パトロールチェックシートに基づき現場パトロール、現場職長及び作業員よりヒアリングを行い、問題は解決に努め、良い事例は共有・称賛し全現場へ展開を図る。また災害、事故の危険が予見できる場合は、その場で迅速な対応を行う。

■職長会パトロールの意義

一、厳しい目で視察し現場緊張感の維持、不安全行為を抑止する。
一、挨拶やマナーについて確認する。
一、現場職長、作業員の声を聞くことで、現場の問題点（工程・進捗）を認識する。
一、環境整備活動の取組状況について確認する。
　職長、作業員、一人一人が主体的に行動できるチームを目指す。

▶田端STATION HOTEL新築工事作業所◀

9月竣工を控え、現場職長会13社15名、職長会からは6社7名に参加いただいてのパトロール及び意見交換。6月の安全大会でスーパー職長の認定を受けた志村工業㈱抔本職長は、佐々社長と共に参加いただきました。現場パトロールでは丁寧に職長や作業員の方にヒアリングを実施し、全員で屋上から1階までを確認。昼礼での確認事項[●現場昼礼の進め方 ●現場職長との工程・手順等の調整、伝達の仕方 ●現場職長の参画意識 ●職長間の連絡調整]

現場の良いところ

① 現場休憩所の整理整頓は良好
② 屋上風散対策用ネットの設置
③ 各フロアーでのひと掴み運動
④ 内装職人さんが持ち場をすぐ掃除をしていた

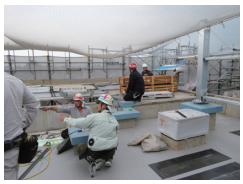
現場の課題

① 吹き抜け足場の隙間
② 資材の省力化と区画による安全の確保
③ フロアーごとの職種の制限
④ 朝礼スペースの確保が問題である
⑤ 資材過多
⑥ 朝礼の体操がだらしない
⑦ 昼礼時の所長の総評の話が長い、わかりづらい
⑧ ELVの開口手摺強固

現場改善と今後

- 二度と飛散事故他を起こさない
- 工事担当の明確化と見える化
- 業務効率化による週休2日の実現
- 1フロア1業者/1工事の推進
- 各フロアの責任者を決める

「決めたルールは必ず守り、全員で実行する」



職長会より

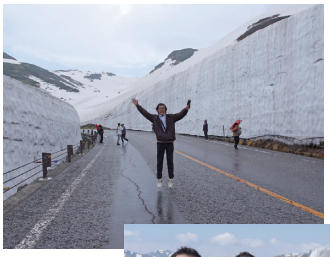
施工に最大限協力することはもちろん、旭建設の更なる成長・発展のための重要課題は「若手社員の育成、その方法」、それを盛り上げるのも、育成に協力するのも職長会の役割。

旭会研修旅行 6月22日(土)～6月23日(日)1泊2日

[富山～長野]室堂→黒部ダム/標高2450m黒部アルペンルート「ホテル立山」泊
参加者：社員・協力会社　総勢53名

1日目

10時に東京駅を出発し、ホテル目の前の雪の大谷に着いたのは16時。移動で疲れていた一同も、雪の壁面にはこのはしゃぎ様。ガイドの方より、雪壁の仕組みや除雪方法についての説明がありました。4月中旬の立山黒部アルペンルートの全線開通に向け、厳冬の1月下旬から除雪作業をスタートし、除雪機械21台編成による、約3カ月間に及ぶ除雪作業の末の雪壁だそう。雪の大谷での過去20年の平均積雪深は約16mで最大は20mと高く、熟練した長年の経験がある方のみが担当できるとのこと。



2日目

翌日は、トローリーバス、ロープウェイ、ケーブルカーを乗り継ぎ、世紀の大事業として日本の建設史に残る、迫力の黒部ダムへ到着。黒部ダムは着工から7年の歳月をかけ1963年に完成した大規模国家プロジェクトです。戦後の経済復興に伴い、関西の電力不足を補うため関西電力が建設を決定。ここではダム建設の成否を決める、建設資材を運び込むために計画された全長5.4kmの大町トンネル、一般非公開の素掘り箇所の見学を行いました。

インフラを築く仕事への使命感と、壮大な景色が望める背景には60年前の171名の尊い命があることを学びました。

長野県　善光寺へ

善光寺は、仏教宗派が分かれる前からのお寺で、宗教関係なくお詣り出来る事で有名。本堂は日本で3番目に大きい木造建築で、随所にある見所の中でも出雲大社や清水寺などとも同じ伝統工法の檜皮葺屋根は圧巻。丁寧な造りの歴史ある建造物を前に、建設という仕事への誇りを実感することができました。

学び　安全への意識

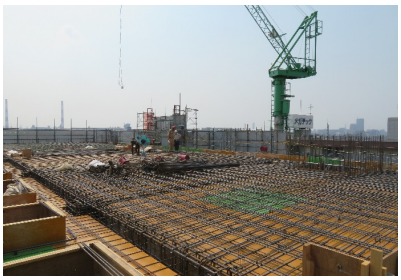
大谷の除雪作業からは、危険予知の重要性を再認識しました。
また黒部ダムでは、実際に災害・大事故が起こった場合の怖さを体感することができました。大破砕帯遭遇による事故だけでなく、トンネル内での作業の為、熱中症、脱水症状等の健康被害も記録できないほどに発生したそうです。
以上のことから、工事の難易度には関係なく、危険予知活動や対策をしたからといって安心せず、事故が起こる可能性を日々意識し業務に当たる重要性を学びました。また安全への意識と危険予知については、現場だけでなく、社内業務における様々なトラブルに対しても同じだと理解し、この経験を日々の業務に生かしていきます。

研修レポート　管理部 堀合 斗

職長会
パトロール
8/1

▶ウィザースレジデンス蘇我新築工事作業所◀

34度の猛暑の中、▶長年の習慣を変えるには ▶朝礼を短くするには ▶ムダを発見するには ▶作業効率を上げるにはどうしたら良いか、全員で議論を行った意識の高いパトロールとなりました。旭会職長会9社10名、現場職長会からは4名が参加。



現場の良いところ

① 全職人さんの挨拶の率先垂範が気持ちが良かった
② 共用廊下、各部屋の整理整頓が良好である
③ ELVの開口部の落下防止対策が金網による柵より大変良好である
④ 外部ネットが良好である
⑤ 開口のさし筋、階段のセパ折り対策が万全である
⑥ 型枠大工さんが持ち場をすぐ掃除をしていた
⑦ 照明の照度を十分確保している

現場の課題

① 落下防止ネットの乱れあり
② 休憩所のテーブルに私物が多い、ロッカーが足りないのではないか?
③ 屋上ルーフバルコニーに残材が多い
④ 3階EXP.Jの養生板の補強と固定をする
⑤ 建物メイン入口の開口スペースを大きくする
(足元が上がっており上部は頭が足場板にあたる)
⑥ 喫煙所に扇風機はあるが、ミスト等による。さらなる熱中症対策を行ってはどうか
⑦ 外部足場にコンクリートガラとペットボトルが落ちていた
⑧ 照明と扇風機が付けっぱなしになっていた

現場の創意工夫

① 各フロアーの掃除道具置場
② 共用廊下の照明のLDE化による照度アップと消費電力の低減化
③ 各部屋のタイプ別の見える化
④ 各部屋の施工図を掲示することによる作業員に対しての見える化
⑤ 開口部差筋の安全対策と直角直線による美化
⑥ 外壁下端打継部 シール目地を設け、シール後ウレタン防水処理

10/23 モデル現場での勉強会 (台風の影響で9月10日から順延／社員23名、協力会社18名)

特別養護老人ホームひだまりの里新築工事作業所

グループワーク意義　参加者全員でコミュニケーションとチームワークについて学び、環境整備活動の継続に活かす。

当日のスケジュール

13:00〜14:00　講演
環境整備活動の継続とコミュニケーション
[一般財団法人日本そうじ協会 理事長 今村暁先生]

14:15〜15:15
現場からの発表
・工事概要と全体行程表について
・着工前1ケ月の準備と成果

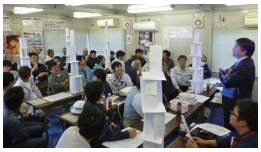
15:30〜17:00
現場見学・意見交換会
・良い点/さらに改善できる点
・環境整備活動について

■グループワークを交えての講演

●7チーム各6名/1人5枚のA4用紙を使い、チームでより高いタワーを築くワーク

1回戦　7分間で1人1枚、好きな様に折ったり切ったりして検証する。 ▶ 5分でグループ内の紙を使ってタワーを作成!
一番高く積み上げた班は3段という結果に

2回戦　各班の代表が目標を発表 ▶ チームの目的意識が高まり、コミュニケーションが活発に!
役割分担を明確にしたことで、チームの一体感が向上。
7段も積み上がったタワーが完成



学び円滑なコミュニケーションには、目的意識と役割分担が大切であること。一人の発想からコミュニケーションが広がり、良いアイディアや生産性の向上、働き方改革へも繋がる。

■現場からの発表「着工前1ケ月の準備と成果」

①全体行程表　②総合仮設計画
③実行予算［契約図書の読取・契約見積書の検証］　若手社員の育成にも繋がる
④総合施工計画
[●現場施工管理の基本方針
●工種別工事担当区分と工事施工計画の指導　●工種別施工図と予定表　●工種制作日程表
●工種工程内検査予定表　●全体安全管理表]

上記準備、資料作成によるコスト低減の実証
1. 初期ライフライン(用水・電気)　2. 各種工事　3. 各種使用変更
・内部階段の手摺　・天井材　・発砲ウレタン　・壁クロス
・複層ガラス　・床材
また施工計画書と施工図を用いて専門業者と詳細な工事打合せが可能となりCD/VE案の早期提案も実現した。

■現場見学・意見交換会

●良かったところ
・安全通路の表示
・外構工事先行でムダのない工程
・工事担当者が明確で解り易い
・作業員の挨拶とマナー
・7:45全員参加の始業前点検

●さらに良くするには
工事遅延や収まり・見直しについて、完成箇所の養生、土足者への声かえ、現場明度等についての意見をいただきました。

—ありがとうございました—

●工期厳守のために行うこと
・着工1ヶ月で基本方針の段取りと計画をする
・全体工程と現場進捗状況の把握
・施工図と施工計画書の早期作成
・協力会社との密な打合せをする
・作業後の清掃の徹底
・設計変更の早期の確定
・報連相の徹底
・各工事担当者の配置と役割分担を明確にして仕事をする
・所長の適切な指示とリーダーシップ

管理部から (堀合　斗)
現場でのコミュニケーションが良く取れていることから、工事工程に遅れもなく事務処理に関しても管理部に緊急で依頼される書類もありません。現場内での定位置管理・整理整頓も徹底されており、非常にスムーズに現場見学を行うことが出来ました。台風で予想される被害もお客様やご近隣様と従前な話し合いができており事後対応、安全管理もしっかりと行っていました。無事に竣工出来るよう管理部としてこれからもサポートします。

本社からのご案内

台風15号・19号、台風21号による大雨による被災、被害にあわれた方に、心よりお見舞い申し上げます。

● 旭会は台風15号の千葉県災害義援金として100万円を日本赤十字社に寄付しました。

◆台風15号の風速50mを超える影響によって発生した現場被害状況

もりまちちはら台モール

仮設事務所が基礎から外れ3.5m移動、傾く。
対策 ワイヤーロープ、重機による固定

特養ひだまりの里

仮囲いの倒壊
対策 パネルの間引き又はメッシュ板の設置

カワサキプラザ千葉中央新築工事

外部足場の倒壊
対策 外部シートの取り外し

ゆりまち袖ケ浦モール

軒天井の崩壊
対策 軒天下地の補強

◆19号へ向けての対策

もりまちちはら台モール

重機とワイヤーロープによる仮設事務所の固定

特養ひだまりの里

フラットパネルの間引き

千葉市建設業協会からの要請により、土木課から社員3名と協力会社で倒木処理活動を行いました。

ニュース

■第2回 学生が選ぶ インターンシップアワード 建設会社初の優秀賞を受賞

この度、第2回「学生が選ぶインターンシップアワード」において、2018年度夏季に実施したプログラムが評価され、建設会社で初となる優秀賞を受賞致しました。
受賞理由として、全社員の1/3以上が受入に関わっていること、実習ノートや適正検査を利用した多面的なフィードバック、そしてリアルな現場体験。さらに中小企業のインターンシップ受け入れ事例として他社の手本となる点を評価を戴きました。

10月17日には日本経済新聞社主催「日経・人事就職シンポ」in東京2019（日本教育会館一ツ橋ホール）において、パネルディスカッションに登壇する機会をいただけました。大学関係者、全国企業の人事担当者約500名を前に、再度プログラム内容の発表と具体的な取組、受入に際し大変だったこと、気をつけたことなどを紹介しました。

今期インターンシップ受入期間中には、WR蘇我の現場に日本経済新聞社より取材がありました！

■千葉銀行本店JV現場見学会の開催

清水建設様のご厚意により、8月23日と30日の両日、インターンシップに参加中の学生と社員、計50名を対象に、現場見学会を開催いただきました。
学生にとっては当社との違いを実際に見て学ぶ機会となり、社員にとっても最先端の様々な取組を自社の現場へと生かす、学びとなりました。
ご協力いただきました清水建設の皆さま、ありがとうございました。

■周辺一斉清掃

台風 15 号の影響により、本社周辺も倒木などの被害がありました。台風後はじめての週末に行った清掃活動では、飛散物などが多く前月と比較すると、こんなにたくさんのゴミが集まりました。

8月10日

9月14日

■防寒着の決定

洗濯機で洗える機能や動きやすいアクティブカット、反射板もついたワークマンに決定！
裏地にはヒートアシストを備えたユニチカの「サーモトロン　ラジポカ」（光を熱エネルギーに変換すると同時に遠赤外線を放射して快適な温かさをつくり出す）が使用されています。
シルバーグレー、ネイビーより希望のカラーを11月初旬より順次お届けします。人気はシルバーグレー、お楽しみに！

TeamA
【発行】2019年10月　【編集】旭建設 旭会事務局　〒260-8663 千葉市中央区川崎町1-39 TEL.043-268-7151
※掲載内容についてのお問い合わせや、本誌の送付をご希望の場合は事務局までお問い合わせください。
人・街・未来を創造する。
旭建設株式会社・旭会・職長会